

No. 13 獅子島架橋はみんなの願い インタビュー

島へ帰省も時間に束縛



熊本市在住（片側出身）
藤川裕太さん（20）

◇帰省して思うことは

長島高校在学中はフェリーで通学していたので、放課後は時間が少なく、部活動は途中までしかできませんでした。

現在は、熊本市内に住んで学校に通っています。獅子島へは一年に3回くらい帰省しています。熊本市から水俣市まで新幹線、水俣港から幣串港まで船を利用しています。船の時間に束縛され、自由に帰ってこれないのが現状です。

獅子島の魅力はフェリーに乗れることであり、架橋が実現すれば悪人が出入りしたりする不安もあります。しかし、獅子島住民家族は気軽に島外へ外出でき、交通費も少なくて済むので、便利になると思います。

わがまちの景観づくり



川内の県道沿いで花壇の手入れをする町民

ポランティアでフラワーロード着々と

平成19年3月に長島町ふるさと景観条例が施行され、住民の皆さんの協力をいただきながら、主に長島

を一周する国道、県道沿いを花でつなぐ「ぐるっと一周フラワーロード事業」を展開しています。

この事業は、花と石積みを組み合わせて、自然に優しい景観づくりを進めるものです。その一つとして花壇の増設を図り、この一年で約30の花壇が新設されました。既存の花壇とあわせると50カ所以上の花壇が事業所、各種

団体および個人のポランティアにより管理されています。その他、沿道のガードパイプ下やガードレール下などにもフクロナデシコなどを植栽し、町花であるいせんも長島一周約36kmの大半に植栽が終わっています。もうすぐ可憐なすいせんの花が咲き誇り、春先には花壇や沿道の草花が長島中を彩り、行人の目を楽しませてくれることでしょう。

この事業は、すべて住民の皆さんの協力で成り立っています。今後も長島一周を花でつないでいくためには、住民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。住民が一体となつてこの事業が進められるよう、これからもご協力をよろしくお願いします。